

令和7年度 教育委員会事務局 盛岡教育事務所 経営計画

1 組織の基本目標

盛岡教育事務所は、これからの地域や社会を担っていく人材を育てるため、地域の学校教育及び社会教育・生涯学習を推進する組織です。

このことから、常に相手の立場に立って、誠心誠意業務を推進するとともに、管内8市町教育委員会と連携し、管内の教育振興に取り組みます。

今年度は、児童生徒一人ひとりに寄り添った心のサポート体制の充実に引き続き取り組むとともに、「いわての復興教育」の一層の推進に取り組みます。

特に、子どもたちの視点からの個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、いじめ問題等への適切な対応など組織的な指導体制の一層の充実、学校・家庭・地域が協働する仕組みづくりの充実に取り組みます。

予測困難で変化の激しい社会の中で、児童生徒一人ひとりの夢の実現を支え、未来の創り手として育てていく学びを支えるために、幼保小中連携の推進、ICTを効果的に活用した学習の質の向上、健やかな体の育成、特別支援教育の充実、教職員の働き方改革など児童生徒の学びの基盤づくりに向けた喫緊の教育課題に係る取組を推進します。

2 本年度の主要項目

- 【企画総務課】
- ① 小中学校事務職員の適正な事務処理の確立と資質の向上
- ② 小中学校事務共同実施の推進体制の充実
- 【教務課】
- ① 「社会に開かれた教育課程」の実現への支援
- ② 誰一人取り残さない安全・安心な居場所づくりへの支援
- ③ 学校経営体制の充実・強化への支援
- ④ 教職員の資質向上への支援
- ⑤ 学校・家庭・地域の連携協力による社会教育の充実

			内部統制の目的を達成するための年間取組目標			
			年間取組目標	目標を達成するための具体的な方策		
			・法令、規則に則った適正な会計事務の執行と支払遅延の防止	・毎月の課内打ち合わせにおいて業務の進捗状況を把握し、翌月以降の業務の確認を行うとともに必要に応じ分担の見直しを行う。 ・事業の実施にあたり所内の連携を密にする。		
項目（何を）	目指す姿、ゴール （中長期的な目標）	当該年度の達成レベル・目標 （いつまでに、どういう状態にするか）	達成手段・方法（具体的取組） （重要なプロセス・チェック方法等） 【庁内外の連携先】	第〇四半期		

確かな学力の育成	諸調査を活用した資質・能力の向上のための全県共通取組の推進に向けて、各種事業、研修会等を実施します。	○学習指導要領の周知と適切な実施に向け、各学校の教育課程の編成や教育活動の推進が図られるよう支援します。 ○「確かな学力育成プラン」に基づいた組織的・計画的な取組の充実に向けた取り組みを支援します。 ○校内研、各種研修等を通しＩＣＴを活用した学習活動の充実を図るよう支援します。 ○資質・能力の育成を目指したカリキュラム・マネジメントの推進が図られるよう支援します。 ○「授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている」と答える児童生徒の割合の増加に向け、「いわての授業づくり３つの視点」を踏まえた授業づくりの充実に向けた取組を支援します。(R7 年度 小 87.0％・中 89.2％)。 ○「意欲をもって自ら進んで学ぼうとする」児童生徒の割合の増加に向け、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の取組を支援します。 (R7 年度 小 83.5％・中 83.4％) ○温かい人間関係と学習規律を基盤とした学習手段の形成に向けた取り組みを支援します。 ○学校の学びを踏まえ授業以外の学習に自立的に取り組む児童生徒の割合の増加に向けた取組を支援します。 ○「スタート・カリキュラム」の作成・活用と、幼保小中の連携推進が図られるよう支援します。	○各種事業の周知と SL 講座(出前講座)等の希望調査の実施(4 月～5 月) ○諸調査の実施・分析と現状の把握 ・県中学校新入生学習状況調査(4 月) ・全国学力・学習状況調査(4 月) ・県学習定着度状況調査(10 月) ・岩手県中学 1 年生英検 IBA(1 月) ○家庭学習習慣や読書習慣の形成についての事例の紹介(各種研修会で随時) ○学習指導要領の趣旨に応じた授業の周知徹底 授業力ブラッシュアップ授業改善研修会(9～11 月) ○小中をつなぐ外国語教育推進研修会(12 月) ○学校公開研究会、校内研等での指導助言(随時) ○「令和の日本型学校教育」推進研修会Ⅰ(旧・研究主任研修会(4 月)) ○「令和の日本型学校教育」推進研修会Ⅱ(旧・教務主任等研修会)(9 月) ○小学校低学年研修会(9 月)			
豊かな心の育成	学習指導要領の改訂を踏まえた道徳教育指導計画の整備や組織的な道徳教育推進体制の構築、道徳教育及び道徳科の授業の充実に向けて、各種事業、研修会等を実施します。	○「自己肯定感をもつ」児童生徒の割合(R7 年度 小 81.6％・中 84.6％)、「人が困っているときは、進んで助けようと思う」児童生徒の割合(R7 年度 小 67％・中 65％)の増加に向け、道徳教育指導計画の整備と組織的推進体制の構築への取組を支援します。 ○「考え、議論する道徳科」の授業を要とする道徳教育の充実に向けた取組を支援します。	○道徳教育に関する指導・支援(随時) ○道徳教育推進事業 児童生徒の心を耕す教育推進事業 岩手県道徳教育推進事業 授業力ブラッシュアップ事業(道徳) ○こころのサポート、カウンセリング講座の実施(随時)			
健やかな体の育成	児童生徒の健やかな体の育成に向け、望ましい運動習慣・食習慣及び生活習慣を相互に関連付けた一体的な取組を組織全体で推進する「60(ロクマル)プラスプロジェクト」を支援します。	○体力・運動能力標準以上の児童生徒の割合の増加に向けた取組を支援				

生徒指導の充実	生徒指導提要の主旨を踏まえ、生徒指導の実践上の視点を生かした学級・学年経営や、社会性や協調性、自立心や自己指導能力を育む教育活動の推進に向けて、研修会等を実施します。	○「学校が楽しいと思う児童生徒の割合」の増加に向け、生徒指導の実践上の視点を生かし自己有用感を高める教育活動、学級・学年経営が推進するよう支援します。 (R7 年度 小 85%・中 87%) ○社会性や協調性、自立心や自己指導能力をはぐくむ教育の推進が図られるよう支援します。	○各研修会を通じ、生徒指導の機能を生かした教育活動の推進 ○学級経営等の研修会の実施（ＳＬ講座等）（随時） ○「令和の日本型学校教育」推進研修会Ⅲ（生徒指導主事等対象）（9 月） ○こころのサポート、カウンセリング講座の実施（随時）			
安全・安心な風土の醸成	いじめ、不登校、問題行動等の未然防止や危機管理体制の整備、組織的な対応強化に向け、各種調査や研修会等を実施します。	○「いじめはいけないことだ」と思う児童生徒の割合の増加に向け、各学校において、「学校いじめ防止基本方針」の共通理解が図られ、実効性が高まるよう支援します。 (R7 年度 小 100%・中 100%) ○スマートフォン等を使うときは、危険に巻き込まれる可能性等があることを理解している児童生徒の割合の増加に向け、情報モラル指導の充実に向けた取組を支援します。(R7 年度 小 100% 中 100%) ○いじめや学校不適応児童生徒の未然防止のため、学校の組織的な取組により児童生徒にとっての「魅力ある学校づくり」を支援します。	○不登校児童生徒数・発生の要因分析と対策の協議・学校及び教委が行っている取組の交流（毎月） ○いじめ、問題行動等の状況把握と対策の協議（毎月） ○「令和の日本型学校教育」推進研修会Ⅲ（生徒指導主事等対象）（9 月） ○学校訪問指導（ＳＬ講座）による情報モラル教育のサポートの実施（随時） ○在学青少年指導員が収集した生徒指導関係情報の交流とその対策検討（毎月）			
家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校経営の充実	家庭・地域と協働する開放的で個性的な学校経営を推進します。	○目標達成型の学校経営の取組の継続を支援します。 ○各中学校区の課題に応じた小・中連携の推進を支援します。	○地域とともにある学校づくり推進フォーラムの実施（6 月）			
教職員一人一人の服務意識の高揚と信頼関係の確立	教職員が児童生徒・保護者・県民の信頼を得て、家庭・地域社会と一体となった学校経営を推進するために、管理職の「コンプライアンス宣言」や「岩手モデル」作成に至った経緯を踏まえた取組を支援し、教職員一人一人の服務意識の高揚、不祥事案の発生ゼロを目指し取り組みます。	○所属長の「コンプライアンス宣言」に基づく、全職員一体となった服務意識の高揚を図ります。 ○全ての小中学校において、コンプライアンス確立の日を設けるとともに、コンプライアンスに関する職場研修会を年 2 回開催できるよう支援します。(R7 年度 100%) ○「岩手モデル」作成に至った経緯を踏まえ体罰防止チェックシートやコンプライアンス・チェックシートの活用推進に取り組みめるよう支援します。(R7 年度 100%) ○市町教育委員会、各校と共に、飲酒運転、体罰事案の根絶を図ります。	○教育長会議、校長会議で、「			

関係機関と連携した生涯学習の推進	管内社会教育・生涯学習担当課と連携を図り、職員や団体等への支援や人材育成を通して、学びの場の充実と学んだ成果を還元できる生涯学習社会の構築を目指します。	〇市町社会教育・生涯学習担当職員対象の会議・研修会の充実を図ります。	〇市町社会教育・生涯学習担当職員対象の会議の開催 ・管内社会教育課長等会議（年3回） ・管内社会教育係長等会議（年3回） 〇社会教育・生涯学習関係事業についての学習情報の提供と相談、人材育成のための学びの機会の提供、市町主催事業への協力や支援 ・資質向上研修（5月） ・社会教育関係職員視察研修（9月）			
地域ぐるみで取り組む教育の推進	学校・家庭・地域住民等の連携・協働による、コミュニティ・スクールや教育振興運動・地域学校協働活動、子どもの読書活動、子育て・家庭教育支援の充実を図り、家庭や地域の教育力の向上を目指します。	〇コミュニティ・スクールの導入や充実、学校・家庭・地域が一体となった学校運営を推進するため、研修会の開催や情報提供の充実を図り、市町の取組を支援します。 （R7 年度 CS フォーラムの参加者全体評価平均値 3.8/4） 〇「読書が楽しい」と感じる児童生徒の割合の増加を目指します。（R7 年度 小：50%・中2：83%） 〇子育て・家庭教育支援関係者のスキルアップとネットワークづくりの支援をします。（R7 年度 研修会参加者全体評価平均値 3.8/4）	〇コミュニティ・スクールや教育振興運動・地域学校協働活動の推進に係る支援 ・地域とともにある学校づくり推進フォーラム（6月） ・地域学校協働活動推進員（コーディネーター）地区別研修講座（10月） ・地域学校協働連携・協働推進のための訪問支援（随時） ・導入・充実に係る情報提供（随時） 〇子どもの読書環境の整備と関係者の課題解決に係る支援 ・中・高等学校図書館担当者等研修会（7月） ・読書ボランティア等研修会（9月） ・子どもの読書活動推進会議（1月） ・おはなしの風キャラバン（6～11月） ・子どもの読書活動支援事業（6～11月） ・岩手県子どもの読書状況調査（10月） 〇子育て・家庭教育支援関係者の課題解決に向けた支援 ・子育て支援ネットワーク研修会（10月）			
郷土愛と郷土への誇りを育む世界遺産の継承	世界遺産の普及啓発等の推進を通して、郷土愛と郷土への誇りを育む児童の育成を目指します。	〇児童（小学校高学年）対象の「世界遺産『平泉』出前教室」の充実を図ります。（R7 年度 実施校 30 校、実施校アンケート児童評価平均値 3.6/4）	〇世界遺産の普及啓発 ・出前教室（小学生対象）の実施（6～11月）			
業務の効率化及び質の向上、内部統制の推進	職員の資質向上や組織的な取組体制の構築により、適正な事務処理の確保に取り組めます。	〇より一層の業務の効率化を図るため、事務処理の簡素化・標準化に努めます。 〇チェック機能の強化、業務プロセスの見える化を進め、事務処理の適正性・透明性の確保に取り組めます。	〇業務スケジュール及び進捗状況の定例的な確認 〇業務の進捗状況に応じた相互支援の実施 〇事業担当者と支出担当者との連携の強化			
職員の子育てと仕事の両立に向けた取組の推進	職員の子育てしやすい環境づくりと働き方改革の取組により、仕事と生活の調和のとれた職場環境をつくります。	〇仕事と家庭の「やりがい、心の豊かさ」が実感できる職場環境の実現を図ります。	〇定時			